

公安委員会定例会議(第25回)の開催状況

第1 日 時 令和元年10月2日(水)

午後1時30分 ～ 午後5時00分

第2 出席者 渡部委員長、増田委員、曾我部委員

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官

生活安全部長、刑事部長、交通部長、警備部長

警察学校長、情報通信部長、総務課長

第3 議事の概要

1 委員長説示

秋祭りを思い出させる金木犀(きんもくせい)の甘い香りがする季節となりました。先日私は、久万高原警察署の警察署協議会に出席させていただき署に向かう途中に、署員と地元の方が一緒にドライバーに交通安全を呼びかける交通茶屋に出会ったり、協議会では署の取り組みに対する協議会委員の活発な意見を伺うことができました。このように署員と地域住民の方々との密着した活動を直接見ることができ、地域住民の方との協働した警察活動の大切さを改めて感じました。

詩人坂村真民の、“愛媛産には愛がある。”という言葉から、相手のことを思って真心を込めて作ることの大切さを感じ、マザーテレサの“愛の反対は憎しみではなく無関心である。”という言葉からも、相手に関心を持ち、思い続けることや向き合っていくことの尊さを感じるのです。

誤認逮捕事案を省みることで、県警察のそれぞれの部署が、愛情を持って地域住民に向き合うことの大切さを認識して、これを機に県警察全体が生まれ変わったと県民に理解してもらえるようになっていただきたいと思います。

2 決裁事項

(1) 公安委員会定例会議の会議録について

総務室から、令和元年第24回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

(2) 苦情申出に対する調査結果及び回答について

総務室から、公安委員会宛て苦情申出に対する調査結果及び回答につ

いて伺いがあり了承した。

(3) 警察署協議会委員の委嘱候補者の上申について

総務室から、警察署協議会委員の委嘱候補者の上申について伺いがあり了承した。

(4) 審査請求の申立て等について

警務部から、審査請求の申立て及び裁決について伺いがあり了承した。

(5) 審査請求の申立て等について

警務部から、審査請求の申立て及び総括審理官等の指名について伺いがあり了承した。

3 報告事項

(1) 愛媛県警察柔道・剣道大会の開催について

警務部長から、令和元年度(第65回)愛媛県警察柔道・剣道大会の開催について報告があった。

(2) 監察案件に関する報告について

首席監察官から、監察案件に関して報告があった。

(3) 生活安全部における対策について

生活安全部長から、生活安全部における適正捜査等に関する対策について報告があった。

(4) 児童生徒に対する情報モラル対策の推進について

生活安全部長から、児童生徒に対する情報モラル対策の推進について報告があった。

(5) 誤認逮捕事案に関する報告について

本部長、総務室長、警務部長、首席監察官及び刑事部長から、誤認逮捕事案に関して報告があった。

(6) 夕暮れ時の歩行者事故抑止「ピカピカロード作戦」の推進について

交通部長から、夕暮れ時の歩行者事故抑止「ピカピカロード作戦」の推進について報告があった。

(7) 「あおり運転」取締強化月間の実施結果について

交通部長から、「あおり運転」取締強化月間の実施結果について報告があった。

(8) 日本国民救援会からの申入れについて

総務室から、日本国民救援会からの誤認逮捕事案に関する申入れにつ

いて報告があった。

(9) 地域安全見守り活動に関する協定の締結について

生活安全部から、株式会社との「地域安全見守り活動に関する協定」締結式について報告があった。

(10) 110番アプリシステムの運用開始について

生活安全部から、110番アプリシステムの運用開始について報告があった。

4 その他

委員から、「ロシアは、ナポレオンとナチス・ドイツに2度にわたって攻め込まれた。これは、“歴史は繰り返す”ということだ。“天災は忘れた頃にやってくる。”これは、物理学者・随筆家の寺田寅彦が言ったとされている。彼の書いた本を読んでも、人間のスパンと天災のスパンは全く違う、人間はせいぜい100年だが自然災害は何百年単位で変化を繰り返す。大災害を体験した人であっても後世までは生きて伝えられないから、記録を残し教訓として伝えることが必要だということになる。今回の誤認逮捕事案も、教材として活用したり、留意点などの情報を共有したりすることで、忘れてはならない教訓としてほしい。どうやったら同じことが起こらないのか、どうしていたら防げたのか、皆で考えた上で再発防止策を実行していくだろうが、その効果を検証し、必要に応じて是正するというPDCA〔Plan(計画)Do(実行)Check(評価)Act(処置)]サイクルをまわし続け、一人一人が考えて実行していくことが、再発防止を図るうえで大切である。」との発言があった。

以上